

兵庫県姫路市と木質資源を活用した脱炭素化に関する包括協定を締結
～バイオマス燃料の地産地消化を目指して～

2025年3月24日

大阪ガス株式会社

株式会社グリーンパワーフュエル

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）は、本日、兵庫県姫路市（市長：清元 秀泰）と「木質資源のエネルギー利用を始めとする脱炭素化に資するエネルギー関連の取組に関する連携と協力に関する包括協定」（以下「本協定」）を締結しました。



左から姫路市長 清元 秀泰、大阪ガス(株) 代表取締役 副社長執行役員 電力事業部長 坂梨 興

「ゼロカーボンシティ」として2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指す姫路市と、同市内に位置する広畑バイオマス発電所*¹で木質燃料の地産地消と再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の供給を進める大阪ガスが、相互に連携を深めることとなり、本協定が締結される運びとなりました。

本協定は、姫路市内の森林資源のエネルギー用途での利活用を拡大することで、林業および関連産業の活性化を図り、広畑バイオマス発電所の事業運営を長期安定化させることを主な目的としています。さらに、両者で協力し、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、さまざまな取り組みを検討していきます。

本協定に基づく第一弾の取り組みとして、大阪ガスの子会社である、株式会社グリーンパワーフュエル（以下「GPF」）と姫路市は、姫路市北部に位置する夢咲山で早生樹を育成し、木質バイオマス燃料として利用するプロジェクト（以下「本プロジェクト」）を推進します。

早生樹は、一般的な樹種よりも早く成長する樹木の総称であり、植林・伐採・利用のサイクルを短縮することで、地元の木材の利用拡大と関連産業の活性化が期待されます。

本プロジェクトでは、まず、夢咲山における早生樹の成長性の確認とバイオマス燃料としての有用性評価を行い、将来的には Daigas グループが出資する広畑バイオマス発電所での利用、地産地消の推進を目指してまいります。

（本プロジェクトの主な内容）

目的	姫路市北部の夢咲山で早生樹を育成し、バイオマス発電所での燃料用木材として利用することで、森林資源のエネルギー活用を拡大すること。
GPF の役割	バイオマス燃料としての有用性評価、燃料用早生樹の利用に向けた事業化の検討等* ²
姫路市の役割	植林事業に必要となる用地の提供、早生樹の植林・保育等

Daigas グループでは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、2030 年度までに自社開発や保有に加えて、他社からの調達も含めて、国内外で 500 万 kW*³ の再エネ電源の普及に貢献することを目指しています。

今後もグループを挙げてカーボンニュートラル実現に向けた技術・サービス開発を行い、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努めてまいります。

* 1 : 兵庫県姫路市広畑区に位置する、発電容量 75MW のバイオマス発電所。2023 年 12 月に運転開始。

広畑バイオマス発電所の商業運転開始について（2023 年 12 月発表）

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2023/1769958_54087.html

* 2 : 再エネ電気の固定価格買取制度（FIT 制度）による最大 20 年間の買取が終了した後は、市場価格で発電電力を販売する必要があるため、GPF では燃料の国産化により持続可能な燃料コストの実現を目指している。

* 3 : 建設中や既に意思決定済みの案件および FIT 制度の適用電源を含む。

会社概要

<大阪ガス>

会社名 大阪ガス株式会社
本社所在地 大阪府大阪市中央区平野町四丁目 1 番 2 号
代表者 代表取締役社長 藤原 正隆
資本金 1,321 億 6,666 万円
設立日 1897 年 4 月 10 日
事業概要 ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等

<G P F >

会社名 株式会社グリーンパワーフュエル
本社所在地 大阪府大阪市中央区道修町三丁目 5 番 11 号
代表者 代表取締役社長 揚 鋼一郎
株主構成 大阪ガス 55%、西信森林資源 35%、日本製紙木材 10%
資本金等 1 億円
設立日 2019 年 3 月 7 日
事業概要 国産木質燃料の調達・搬送・販売 等

以上